

学習指導案 略案様式（特別の教科 道徳を除く）

6 年 1 組		指導者	林 美由紀	教科等	国語科
単元	単元名等	筆者の工夫をとらえて読み、それをいかして書こう			
	目標	評価規準	← ※どちらかを選択し、で囲ってください。		
	知識及び技能	知識・技能	○比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。 【知・技（１）ク】		
	思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	◆「読むこと」において目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。【思・判・表 B（１）ウ】 ○「書くこと」において目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 【思・判・表 B（１）ア】		
	学びに向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度	○粘り強く論の進め方について考えたり、書き表し方を工夫したりし、学習の見通しをもって日本文化のよさを伝える文章を書こうとしている。【態度】		
	単元の学習展開（全 10 時間）				
	導入	□単元の学習計画を立て、学習の見通しを持つ。			
展開	□本文『鳥獣戯画』を読む」を読み、筆者のものの見方や考え方、論の進め方や表現の工夫について捉える。 □文章の構成を考え、表現を工夫して、自分の選んだ日本文化のよさを伝える文章を書く。				
終末	□書いた文章を読み合い、単元の振り返りをし、伝えたいことが読み手に伝わる文章構成や表現の工夫について確かめる。				

本時 （2／全10時間）	ねらい	筆者が『鳥獣戯画』のどの部分に着目して、どのような評価をしているかについて、絵と文章をつなげたり、説明と評価の文に色分けをして線を引いたりする活動を通して読み取ることができるようにする。【◆思考・判断・表現 ワークシート（タブレット）の記述】			
	学習過程	「めあて」と『課題』 「絵と文章を照らし合わせながら読み、筆者の見方をとらえよう。」 『筆者は、絵や絵巻物のどこをどのように評価をしているかな。』			
	努力を要する状況の児童生に 対する手立て	【予想されるつまずき】		【必要な支援・手立て】	
		どこに線を引いてよいかわからない		線を引いたものを準備し、説明している文なのか、評価をしている文なのか2択で考えられるようにする。	